静岡新聞で学ぼう

Newspaper in Education

静岡新聞

県産イチゴ 都内でPR

首都圏消費拡大へ

巨大なケーキ型オブジェを展示するなど県産イチゴをPRしているイベント＝15日午前、東京・小田急百貨店新宿店

「紅ほっぺ」など県産イチゴをPRするイベント「静岡いちごマルシェ」が15日、東京・小田急百貨店新宿店で始まった。同日は紅ほっぺ約千個を飾った高さ2・2メートルのケーキ型オブジェを展示し、注目を集めた。店内の食料品売り場やカフェでも25日まで、紅ほっぺを使った創作メニューを提供している。

3月から出荷のピークを迎える県産イチゴの首都圏での消費拡大に向け、県内の生産者や産地の各農協でつくる県いちご協議会（事務局・JA静岡経済連）と小田急グループが共同で企画した。

オブジェはSNSで発信してもらおうと写真撮影スポットとして本館1階の特設会場に設けた。16日には「きらぴ香」でオブジェを作る。特設会場では試食・販売会も行った。

食品売り場やカフェの創作メニューは、ケーキや大福などのスイーツだけでなく、巻きずしやサラダなど総菜にアレンジした商品も並んだ。

2020年
2月16日朝刊

① 県産イチゴの名前を2つ書きましょう。

[　　]　[　　]

②「静岡いちごマルシェ」で並んだイチゴの創作メニューを3つ書き、その中の1つを絵に表してみましょう。

[　　]　[　　]　[　　]

絵を描いてみよう

③ 首都圏でたくさんの県産イチゴを食べてもらえるようなPRを考えましょう。

年　　組　　名前

作問者：NIEアドバイザー　中村　都（静岡市立井宮小学校　教諭）　（小学校中学年以上／社会）

※ ③は、創作メニューを開発して食べてもらうだけでなく、実際に静岡に来ていちご狩りを体験してもらうような企画も盛り込み、県産イチゴの魅力についてPRしてみてください。